

2022年度事業報告

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

1. 事業活動

2022年度前半までは新型コロナウイルス感染症の影響を受けていたが、後半から、協会活動は少しずつ正常な状態に戻り始めてきており、研究発表会は現地開催とオンラインとを併用したハイブリッド形式で開催した。参加者数はコロナ渦前のレベルに戻りつつある。

① (公1) 研究発表会事業 (定款第5条1項)

- ・ 秋季シンポジウムおよび年会は、いずれもハイブリッド形式で開催した。第35回秋季シンポジウム(2022年9月14日～16日)は、徳島大学で開催し、発表件数825件、参加者数1,388名(内現地参加者数は約800名)、2023年年会(2022年3月8日～10日)は、神奈川大学で開催し、発表件数470件、参加者数1,129名(内現地参加者数は約850名)だった。
- ・ 秋季シンポジウム及び年会では、特別企画として、SDGsセッション、カーボンニュートラルセッション、産学連携共創セッションを継続的に開催しており、更に、第35回秋季シンポジウムでは国際ガラス年記念セッションを、2023年年会ではアメリカセラミックス学会日本チャプターとの共催による特別講演を含む国際セッション開催した。

② (公2) 出版事業 (定款第5条2項)

- ・ Journal of the Ceramic Society of Japan(JCS-Japan)の刊行
2022年4月の第130巻4月号から2023年3月の第131巻3月号の合計12冊を刊行。掲載数は106報、総頁数は710頁。また、2021年のIFは1.217となった。
- ・ 協会誌(セラミックス)の刊行
2022年4月の第57巻4号から2023年3月の第58巻3号の合計12冊(総頁数803)を刊行した。2022年9月より、WEBフォームを利用した読者アンケートを開始し、今後の編集企画の参考としている。2023年3月号の特集「セラミックス産業を科学技術で支える企業たち(2023)」では、1級特別会員を中心とした企業より、当該企業の保有技術やそれを用いた製品、SDGsに係わる取組、学生会員に向けた研究開発の魅力等を紹介いただく新規企画を実施した。
- ・ 図書その他の刊行
2019年春に発刊した「わかりやすい大学の無機化学」につづき、無機材料とその関連分野を専門的に学ぶ大学学部生および高等専門学校生を対象とした材料化学教科書「わかりやすい無機材料化学(仮)」の書籍(教科書)出版の企画を進めている。また、基礎工学講座シリーズの見直しを検討している。

③ (公3) 研修・講習会事業 (定款第5条4項)

- ・ CEPRO(セラミックス大学)は、2021年度に引き続き2022年度もオンラインで開催し、参加者はベーシックコース173名(2021年は184名)、アドバンスコース151名(2021年は159名)だった。なお、日本ファインセラミックス協会様から、学生の参加費の半額を補助していただいたため、学生参加費を半額とした。
- ・ その他、支部、部会の主催する事業は別紙参照。

④（公4）教育・啓発事業（定款第5条6項）

- ・ 2023年3月の高校生セラミック作品展は、昨年に引き続き、オンラインで開催した。（2023年3月8日～10日 作品18点、ポスター3点）。
- ・ 理工系人材育成活動助成金は、2件の申請に対して助成金を支給した。なお、日本ファインセラミックス協会様から、助成金額の1/2相当額の補助をいただいた。
- ・ 協会ウェブサイトのリニューアルを行い、スマホやタブレット端末に対応したレスポンシブデザインを導入した。また、「セラミックスアーカイブズ」の連載を再開して、協会ウェブサイト上のセラミックス博物館の新コンテンツの追加と更新を始めている。
- ・ 協会公式のツイッターを開設し、一般向けの啓発コンテンツ中心に情報発信を開始した。
- ・ 特別会員の各社が公開中のセラミックスの特性や製造方法等をまとめて紹介する動画ポータルサイト（ウェブサイト）を公開したほか、セラミックス材料の啓発推進用の90秒程度のショートムービーの制作も進めている。

男女共同参画活動としては、

- ・ 第35回秋季シンポジウムにて、「セラミックスカフェ」をハイブリッド形式で開催し、徳島大学副理事・AWAサポートセンター長の坂東良美氏、及び、徳島県立工業技術センター材料技術担当主任の小山厚子氏に講演をしていただき、参加者87名（現地60名、Zoom27名）であった。川柳コンテストに100作品の応募があり活況であった。
- ・ 2023年年会では、新たな取り組みとなるダイバーシティ&インクルージョン座談会「セラミックスカフェ D&I 座談会」をハイブリッド形式で開催し、参加者59名であった。
- ・ 年4回、セラミックス誌へ「ダイバーシティ四季感一会員間をリレー形式でつなぐ雑記帳一」の掲載を行った。

⑤（公5）標準化事業（定款第5条7項）

- ・ 第35回秋季シンポジウムで、標準化特別企画「セラミックスがかかわる標準化～分析技術の果たす役割～」と題して、東芝ナノアナリシス株式会社の小沼雅敬氏と横浜国立大学の多々見純一氏に講演していただいた。
- ・ 2023年年会サテライトプログラムにおいて、第12回セラミックス化学分析技術セミナーを開催し、日本ファインセラミックス協会の竹村博文氏、横浜国立大学の多々見純一氏と株式会社リガクの高橋学人氏に講演していただいた。
- ・ 2022年度の標準物質の売り上げは、598万円だった。

⑥（公6）国際交流事業（定款第5条8項）

- ・ International Ceramic Federation (ICF)の承認を受け、2026年9月6日～11日に開催予定である第11回国際セラミックス会議（ICC11）（会場：札幌コンベンションセンター）の準備を進めた。

- ・ 2022 年年間を通して「国際ガラス年 2022」の各種イベントを国内で実施し、2022 年 12 月 8 日、9 日に東大安田講堂にて Closing Meeting を、オンラインを併用したハイブリッド形式で開催して幕を閉じた。Closing Meeting の参加者数は 258 名（うちオンライン参加者は 68 名）だった。
- ・ アジア版ジャーナル（Journal of Asian Ceramic Societies (JAsCerS)）は、2022 年 6 月号（Vol.10 Issue2）～2023 年 3 月号（Vol.11 Issue1）の 4 冊（Web 版）を刊行。掲載報文数は 75 報、総頁数は 747 頁であった。2021 年 4 月より著者から APC を賦課するようになった影響で、2021 年 131 報から投稿数が減少した。インパクトファクター IF は 2020 年の 3.125 から低下し、2021 年は 2.546 となった。
- ・ アメリカセラミックス学会日本チャプターと国際交流委員会の共催で、2023 年年会にて国際セッションを開催し、ソウル大学の Young-Wook Kim 先生に講演していただいた。

⑦（他 1）表彰事業（定款第 5 条 5 項）

- ・ 第 7 回（2022 年度）日本セラミックス大賞（1 名）
- ・ 第 3 回（2022 年度）日本セラミックス協会功績大賞（2 名）
- ・ 第 77 回（2022 年度）日本セラミックス協会功労賞（4 名）
- ・ 第 77 回（2022 年度）日本セラミックス協会学術賞（7 名）、進歩賞（8 名）、技術賞（2 件、6 名）、技術奨励賞（2 名）
- ・ 第 56 回（2022 年度）セラミックス貢献賞（技能部門 37 名、技術・研究部門 9 名、教育・試験部門 1 名）
- ・ 第 17 回（2022 年度）協会活動有功賞（3 名）
- ・ 2022 年 JCS-JAPAN 優秀論文賞（3 件、17 名）・優秀総説賞（2 件、6 名）
- ・ 国際交流奨励賞（倉田賞（1 件、2 名）、井関賞（1 件、1 名）、倉田学生賞（該当なし）
- ・ 第 47 回学術写真賞（最優秀賞 1 件、8 名、優秀賞 1 件、5 名、特別賞 1 件、10 名）
- ・ 第 8 回（2022 年度）日本セラミックス協会フェロー表彰（4 名）

⑧（他 2）相互扶助事業（定款第 5 条 9 項）

- ・ セラミックス分野の知識や技術に関する会員間での情報交換を支援するためのツール「研究者検索システム」は、3 月末時点で 1,345 名の個人会員が情報を公開している。

⑨（収 1）賃貸事業

- ・ 協会ビルのテナント賃貸および駐車場の賃貸を行った。

2. 会議等

<総 会>

開催年月日	議事事項		会議結果
2022 年 6 月 3 日 (第 97 回定時総会)	1 号議案	2021 年度事業報告（案）の件	承認
	2 号議案	2021 年度決算報告（案）の件	承認
	3 号議案	2022 年度改選役員選任の件	承認
	4 号議案	名誉会員推戴の件	承認
	5 号議案	定款一部変更の件	承認

	6号議案 次期（2022年～2024年）代議員候補者の承認の件 報告事項1 2022年度事業計画の報告 報告事項2 2022年度予算の報告	承認 報告の上、承認 報告の上、承認
--	---	------------------------------

<理事会>

開催年月日	議事事項	審議結果
2022年5月17日	2021年度事業報告（案）の件	承認
	2021年度決算報告（案）の件	承認
	2021年度中期経営計画の進捗確認	承認
	会長諮問事項の各種答申および進捗報告（一般中高生に対する教育啓発活動、特別会員の級数に応じた特典の見直し、国際プレゼンスの更なる向上、セラミックス遺産認定制度）	継続審議
	理事会構成見直しの件	再審議
	次期専務理事候補者推薦プロセスの件	承認
	2022年年会優秀ポスター発表賞受賞候補者	承認
	2022年度写真賞選考委員	承認
	継続雇用規程改訂の件	承認
	電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程	承認
	公印管理規定 改訂の件	承認
	2022年度 Journal of the Ceramic Society of Japan 編集委員会名簿案	承認
2022年6月3日	代表理事選任の件	承認
	理事の役務分担の件	承認
	副会長の会長、筆頭副会長代行順位および会務担当分野決定の件	承認
	2022年度顧問の件	承認
	2022年度構成員の件（経営審議会、セラミックス貢献賞選考委員会、学術賞、進歩賞、技術賞、技術奨励賞選考委員会、功労賞選考委員会・名誉会員推戴候補者選考委員会、日本セラミックス大賞選考委員会、日本セラミックス大賞候補者推薦委員会、国際交流奨励賞選考委員会、協会活動有功賞選考委員会、協会フェロー候補者選考委員会、常置委員会委員、産学連携検討委員会、日本セラミックス協会功績大賞選考委員会、日本セラミックス協会功績大賞候補者推薦委員会）	承認
2022年7月19日	2022年度セラミックス貢献賞選考結果の件	承認
	理事構成の見直しについて	一部承認
	会長、筆頭副会長、副会長推薦委員会内規の件	承認
	2022年度 会長、筆頭副会長、副会長候補者推薦委員会構成員（案）	承認
	細則変更の件（新理事構成に向けた役員候補者推薦委員会および経営諮問会議に関する部分）	承認
	2022年度 役員候補者推薦委員会構成員（案）	承認
	2022年度 経営諮問会議構成員（案）	一部修正して承認
	専務理事候補者推薦委員会内規（新規）（案）	承認
	2022年度 専務理事候補者推薦委員会構成員（案）	承認
	専務理事公募募集要項の件	一部修正して承認
	第46回セラミックスに関する顕微鏡写真展	承認
2022年11月29日	日本セラミックス大賞 受賞候補者の件	承認
	功績大賞受賞候補者	承認

	功労賞受賞候補者・名誉会員推戴者の件	承認
	学術・進歩・技術・技術奨励賞 受賞候補者の件	承認
	フェロー表彰 受賞候補者の件	承認
	国際交流奨励賞候補者の件	承認
	協会活動有功賞受賞候補者の件	承認
	永年継続会員の件	承認
	理事構成の見直し、前回理事会でのご指摘を反映した修正案	再審議
	130 周年個人会員キャンペーン 2023 年度継続の件	承認
	2023 年 JCS-JAPAN 優秀論文賞・優秀総説賞 選考委員	承認
	2023 年度予算作成方針の件	承認
	Twitter 正式運用許可のお願い 2023 年度予算作成方針の件	承認
	年会・秋季シンポジウムへの無料参加資格（全特別会員）の件	承認
	セラミックス貢献賞規程改訂の件	承認
	東京応化科学技術振興財団助成 推薦依頼について	承認
	Journal of Asian Ceramic Societies 契約更新の件	承認
	日本工学会からの 2023 年度「理事」推薦依頼の件	承認
2023 年 2 月 21 日	2023 年度事業計画（案）の件	承認
	2023 年度予算（案）の件	承認
	2023 年度役員候補者推薦の件（理事・監事の件、支部長・部会長の件、常置委員会委員長の件）	一部修正して承認
	2023 年年会 優秀ポスター発表賞 選考委員の件	承認
	2023 年度理事会構成見直しの件	再審議
	第 98 回定時総会の件（開催承認と次第承認および開催場所について）	承認
	第 98 回定時総会提案予定の規程類改訂案	承認
	細則改訂案（6/2 総会での定款承認後に発効）	再審議
	2022 年 JCS-JAPAN 優秀論文賞・優秀総説賞	承認
	次期代議員（任期：2024 年総会終了後～2026 年総会終了まで） 選挙実施スケジュール	承認
	JAICI 賞（化学情報協会）の件	承認

<委員会>

委員会名	回
経営諮問会議	1
戦略検討委員会	1
経営審議会	2
運営委員会	3
科学・技術委員会	1
国際交流委員会	2
行事企画委員会	4
・年会小委員会	4
・秋季シンポジウム小委員会	4
協会誌編集委員会	10
教育委員会	4
・セプロ小委員会	2
出版委員会	4
・基礎工学講座 WG	0
・新企画 WG	2
・啓発 WG	0
標準化委員会	4
・化学分析小委員会	1

広報委員会	4
論文誌編集委員会	12
・ JCS-JAPAN 優秀論文賞・優秀総説賞選考委員会	1
・ JCS-JAPAN 査読貢献賞選考委員会	1
・ The Editor-in-Chief Award of Distinguished Reviewer 選考委員会	1
男女共同参画委員会	2
産学連携検討委員会	1
日本セラミックス大賞候補者推薦委員会	2
日本セラミックス大賞選考委員会	1
功績大賞候補者推薦委員会	1
功績大賞選考委員会	1
フェロー候補者選考委員会	1
日本セラミックス協会学術賞、進歩賞、技術賞、技術奨励賞選考委員会	3
セラミックス貢献賞選考委員会	1
功労賞選考委員会	1
名誉会員推戴候補者選考委員会	1
学術写真賞選考委員会	1
年会優秀ポスター発表賞選考委員会	1
国際交流奨励賞選考委員会	1
協会活動有功賞選考委員会	1
役員候補者推薦委員会	1
国際ガラス年日本実行統括委員会	3

3. 会員の異動

会員種別		2021 年度末	会員数の増減			2022 年度末
			増	減		
正会員	特別会員	209	8	3	5	214
	個人会員	3,030	147	166	▲19	3,011
学生会員		1,063	527	425	102	1,165
合 計		4,302	682	594	88	4,390

個人会員のうち教育会員 54 名 シニア会員 191 名

2022 年度末の会員数は 2021 年度末と比較すると 88 名増加と昨年の減少（▲22 名）に対して改善はされており、特別会員数は増加に転じているものの、特別会員、個人会員ともに経費の見直しを検討する例も多く、今後も注視し、会員サービスの充実など対策を継続して行く必要がある。学生会員入会者は、2016 年度：493 名、2017 年度：445 名、2018 年度：534 名、だったものが、2019 年度：281 名、2020 年度 378 名、と一時減少傾向になったが、2021 年度 455 名、2022 年度 527 名と増加に転じ、ほぼ元の水準にもどってきた。学生がセラミックスを学ぶ機会を増やす取り組みとして、一昨年よりファインセラミックス協会様から、セラミックス大学の学生会員参加費を半額補助していただいております（学生の参加費が半額）、その施策が学生入会者数の増加に寄与しているものと思われる。